

定期的な歯科健診受診と健康長寿

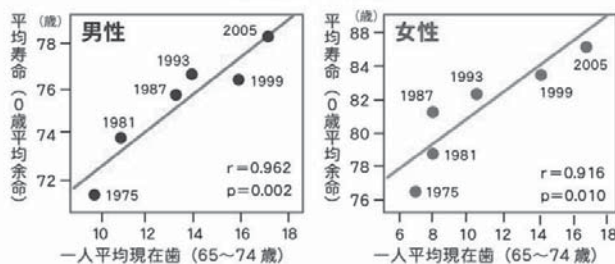
歯周病やむし歯は、気づかないうちに進行する病気です。これらを放置すると歯の喪失につながりますので、定期的に歯科健診と保健指導を受けることをお勧めします。

また、最近の臨床研究や疫学調査などから、歯・口の健康と全身疾患との間に深い関連があることがわかってきました。これまでに報告されているいくつかのトピックスを2回に分けて紹介します。

高齢になっても健康な歯・口を維持するための成人期の取り組みが健康長寿につながります。

歯の喪失防止は平均寿命の延伸につながります！

日本人の現在歯数の増加と平均寿命の延伸との関係 (1975年～2005年)



厚生労働省歯科疾患実態調査および生命表を基に、1975年から2005年までの両者の推移をプロットすると、相関係数で男性0.96、女性0.92という強い相関がみられた。これまでの宮古島における歯数と生命予後との関連の調査結果から考えると、日本人の平均寿命の延びに歯数の増加が寄与している可能性があることは少なくとも否定できない。

Fukai K et al, Geriatr Gerontol Int 2010; 10: 275-276

生活習慣病との関わり



公益財団法人BO20推進財団「からだの健康は歯と歯ぐきから」より

糖尿病との関わり

歯周病治療で、糖尿病の重症化防止！

歯周病が糖尿病を引き起こすメカニズム

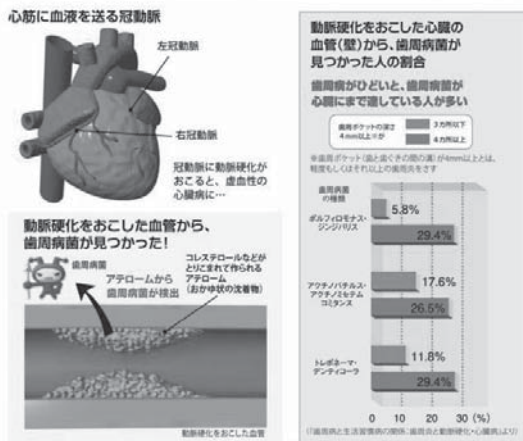
●高血糖による慢性的な炎症が糖尿病を悪化させると考え方が報告されている(Ref. Med. J.)



公益財団法人BO20推進財団「からだの健康は歯と歯ぐきから」より

心臓疾患との関わり

歯周病予防は、心臓の病気も防ぐ！



公益財団法人BO20推進財団「からだの健康は歯と歯ぐきから」より

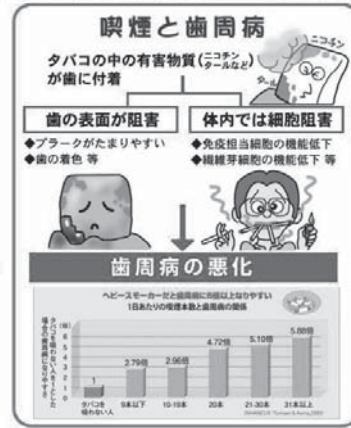
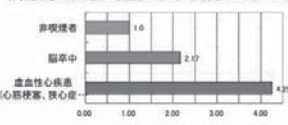
喫煙との関わり

歯周病の最大のリスクは、喫煙(タバコ)！

喫煙は、がんだけでなく脳卒中、心筋梗塞、慢性気管支炎、肺気腫など様々な病気の危険因子！

<循環器病による死亡>

非喫煙者を1とした場合の喫煙者の死亡リスク(男性:21歳以上/日)



公益財団法人BO20推進財団「からだの健康は歯と歯ぐきから」より、一部改変